

令和3年度 県政モニターアンケート
「新型コロナウイルス感染症等に関するアンケート調査」結果概要

1 アンケートの概要

新型コロナウイルス感染症やその他の感染症についての県民の意識を把握し、今後の施策の参考とするため、令和3年12月に県政モニターを対象にアンケート調査を実施。

調査実施者	山梨県
調査対象	山梨県 県政モニター
対象者数	408人
調査方法	調査票郵送による配付・回収及びWEB上での回答

2 アンケートの回収状況

発送数	回収数	回収率
408	337	82.6%

3 本報告書中の記号等について

(SA)・・・単一回答(Single Answer)の略。選択回答は1項目のみ。

(MA)・・・複数回答(Multi Answer)の略。回答する選択肢の数に制限を設けている場合がある。

(FA)・・・自由回答(Free Answer)の略。回答者の考えを自由に記入するもの。

n・・・回答者数(number)を表す。「n=100」は、回答者数が100人ということ。

※アンケート結果の数値は小数点第2位を四捨五入しており、単一回答であっても合計が100%にならない場合がある。

※複数回答の場合は合計値が100%にならない場合がある。

※本アンケート実施時の記載に準じて、新型コロナウイルス感染症については「新型コロナ」と記載をしている。

4 アンケート結果の概要

A 新型コロナへの取り組みや考え方について

- ・ 新型コロナに関する現在（※調査実施時の令和3年12月時点）の取り組みとして、「当てはまる」の割合が最も高かったのが「できるだけマスクを着用する」（95.5%）で、次いで「体調不良の時の出勤や外出を控える」（89.6%）、「大人数での会食を控える」（86.1%）が多かった。
- ・ 気持ちや経験について当てはまるものについては、「まだしばらくはマスクの着用は続けるつもりだ」（95.5%）が最も高く、次いで、「まだしばらくは大人数での飲食を控えるつもりだ」（79.8%）、「まだしばらくは換気の悪い環境を避けるつもりだ」（78.0%）、「なるべく多くの人がワクチンを受けるべきだ」（77.4%）が続いた。

B 県の新型コロナ対策（医療提供体制等）について

- ・ これまで県が行ってきた新型コロナ対策のうち、経済対策等を除く医療提供体制等に関するものについての評価を尋ねたところ、医療提供体制整備が「高く評価できる」（56.7%）が最も多く、次いで情報発信関係の評価が高かった（48.7%）。
- ・ 県の新型コロナ対策（医療提供体制等）について評価できると思うものについて尋ねたところ、「宿泊療養施設の確保」（69.4%）、「新型コロナ専用病床の確保」（69.1%）と、他の選択肢を大きく引き離して評価が高かった。次いで、「新聞や県HP等を通じた注意喚起」（40.1%）、「医療強化型宿泊療養施設の整備」（39.5%）が続いた。
- ・ 県の新型コロナ対策に関し、特に取り組みを強化して欲しい分野を尋ねたところ、「診療・検査体制関係」（37.7%）、「医療提供体制関係」（36.5%）が多くを占めた。

C 新型コロナワクチンについて

- ・ 新型コロナワクチンについては、「既に2回接種した」が92.3%であった（※調査実施時の令和3年12月時点）。一方で、接種しない、という回答は、「おそらく接種しない」「絶対に接種しない」を合わせて3.9%であった。
- ・ 3回目のワクチン接種についての意向を尋ねたところ、「必ず接種する」（73.9%）が最も多く、「おそらく接種する」（8.6%）と合わせて82.5%であった。
- ・ ワクチン接種意向がない者、分からないと回答した者に向け、接種しない理由等について尋ねたところ、「ワクチンの効果に疑問があるから」（20.0%）、「ワクチンの副反応が心配だから」（18.6%）、「アレルギーなど、体質上の理由で打てないから」（14.3%）が上位を占めた。

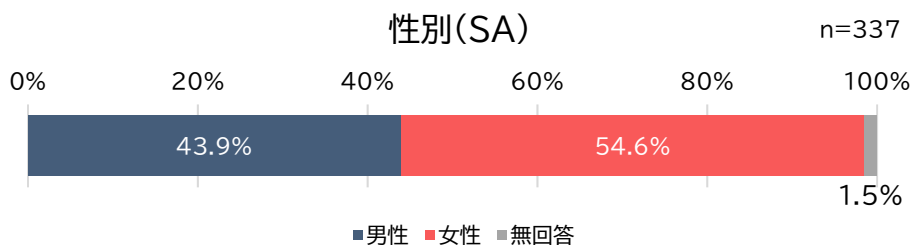
D 新型コロナ以外の感染症全般について

- ・ 感染症全般に関し感じることに「当てはまる」という回答が多かったは、「感染症への関心が高まった」（81.9%）、「感染症に関する知識を皆が得ることは大事だと思う」（89.3%）であった。役に立つ情報としては「県内の患者発生常用（件数）」（81.9%）、「感染者の情報（居住地や生活圏、年齢層等）」（74.2%）、「感染経路（経路概要）」（73.6%）が上位であった。
- ・ 個別の感染症について、知りたいもの、関心があるものについて尋ねたところ、「インフルエンザ」（57.6%）、「感染性胃腸炎（ノロウイルス等）」（48.4%）が他の疾病を引き離して上位を占めた。

5 アンケート結果

問1 性別を教えてください。

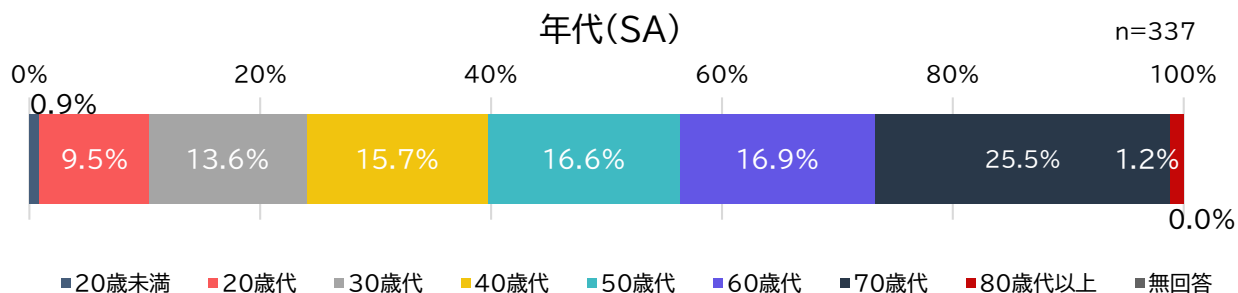
回答者の性別について、男性が43.9%、女性が54.6%となっている。



	n	%
男性	148	43.9%
女性	184	54.6%
無回答	5	1.5%

問2 年代を教えてください。

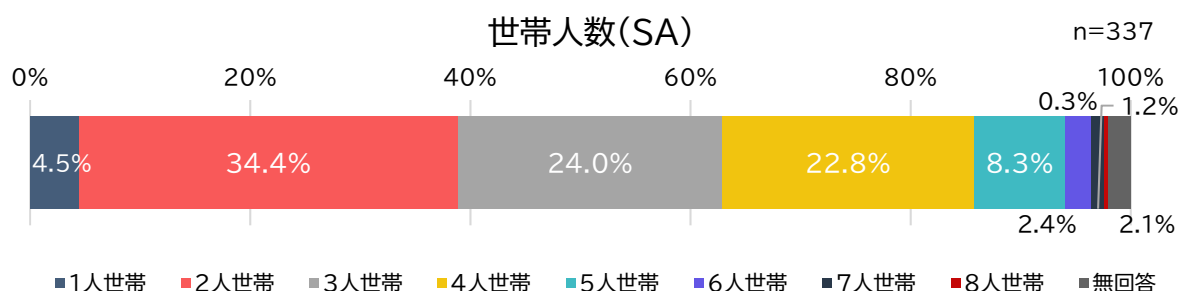
回答者の年代について、70歳代が25.5%と最も高く、次いで60歳代が16.9%となっている。



	n	%
20歳未満	3	0.9%
20歳代	32	9.5%
30歳代	46	13.6%
40歳代	53	15.7%
50歳代	56	16.6%
60歳代	57	16.9%
70歳代	86	25.5%
80歳以上	4	1.2%
無回答	0	0.0%

問3 世帯人数を教えてください。

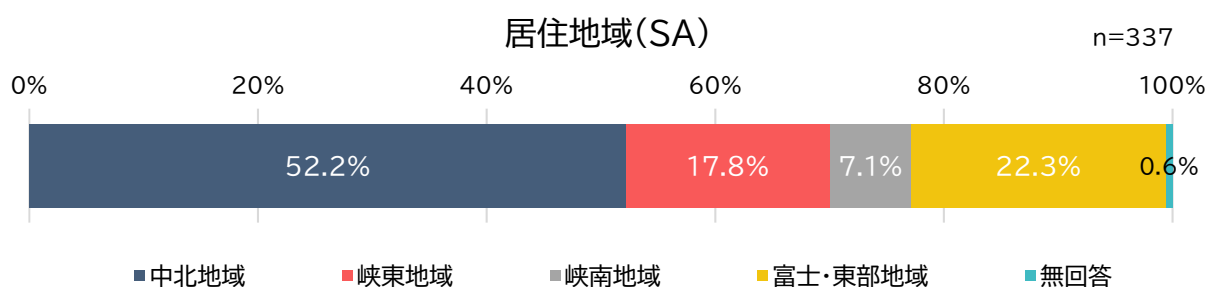
回答者の世帯人数について、2人世帯が34.4%と最も高く、次いで3人世帯が24.0%となっている。



	n	%
1人世帯	15	4.5%
2人世帯	116	34.4%
3人世帯	81	24.0%
4人世帯	77	22.8%
5人世帯	28	8.3%
6人世帯	8	2.4%
7人世帯	4	1.2%
8人世帯	1	0.3%
無回答	7	2.1%

問4 居住地域を教えてください。

回答者の居住地域について、中北地域が52.2%と最も高く、次いで富士・東部地域が22.3%となっている。



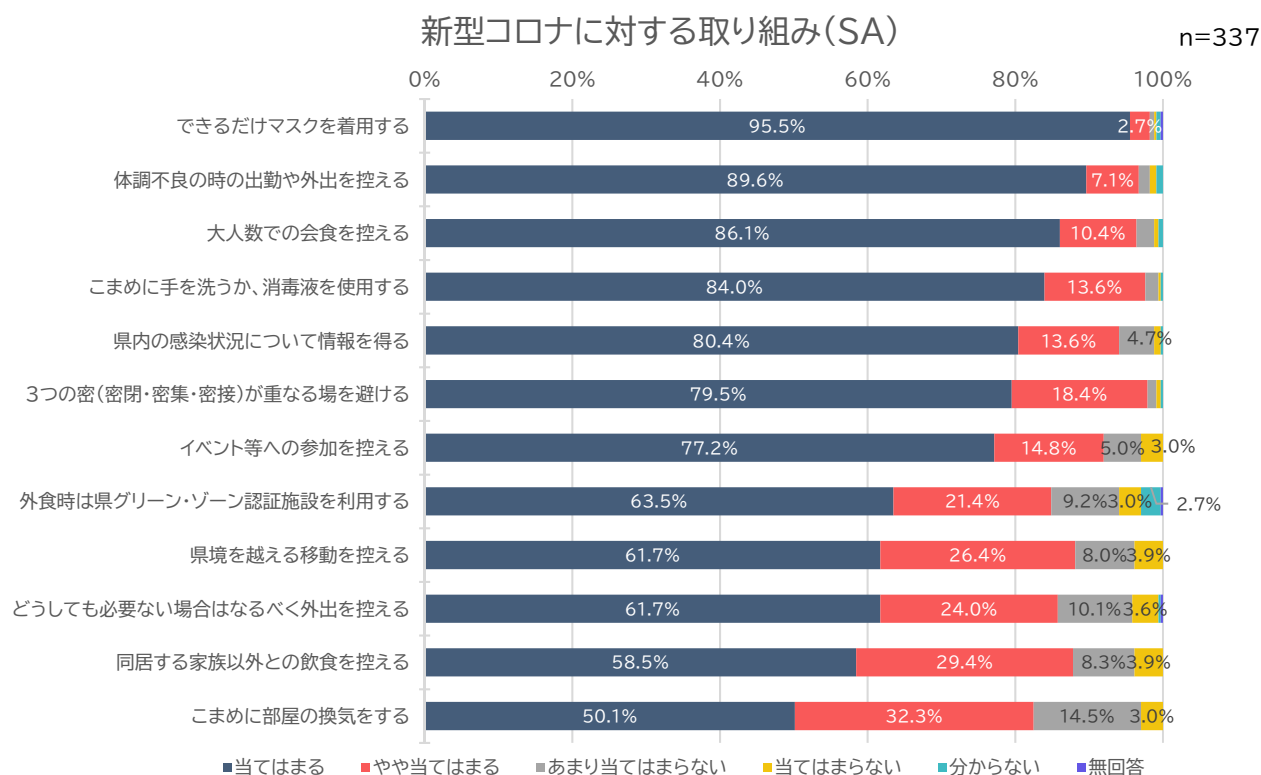
	n	%
中北地域	176	52.2%
峡東地域	60	17.8%
峡南地域	24	7.1%
富士・東部地域	75	22.3%
無回答	2	0.6%

A 新型コロナへの取り組みや考え方について

問5 新型コロナに関し、現在のあなたの取り組みとして、当てはまるものを教えてください。

新型コロナに関する現在（※調査実施時の令和3年12月時点）の取り組みとして、「当てはまる」の割合が最も高かったのが「できるだけマスクを着用する」（95.5%）で、次いで「体調不良の時の出勤や外出を控える」（89.6%）、「大人数での会食を控える」（86.1%）が多かった。

一方、「こまめに部屋の換気をする」は、「当てはまる」「やや当てはまる」を合わせると80%を超えているものの、「当てはまる」だけでは50%程度と、取り組みの中では実施されている割合が低かった。



	当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまらない	当てはまらない	分からない	無回答
できるだけマスクを着用する	95.5%	2.7%	0.6%	0.3%	0.6%	0.3%
体調不良の時の出勤や外出を控える	89.6%	7.1%	1.5%	0.9%	0.9%	0.0%
大人数での会食を控える	86.1%	10.4%	2.4%	0.6%	0.6%	0.0%
こまめに手を洗うか、消毒液を使用する	84.0%	13.6%	1.8%	0.3%	0.3%	0.0%
県内の感染状況について情報を得る	80.4%	13.6%	4.7%	0.9%	0.3%	0.0%
3つの密(密閉・密集・密接)が重なる場を避ける	79.5%	18.4%	1.2%	0.6%	0.3%	0.0%
イベント等への参加を控える	77.2%	14.8%	5.0%	3.0%	0.0%	0.0%
外食時は県グリーン・ゾーン認証施設を利用する	63.5%	21.4%	9.2%	3.0%	2.7%	0.3%
県境を越える移動を控える	61.7%	26.4%	8.0%	3.9%	0.0%	0.0%
どうしても必要ない場合はなるべく外出を控える	61.7%	24.0%	10.1%	3.6%	0.3%	0.3%
同居する家族以外との飲食を控える	58.5%	29.4%	8.3%	3.9%	0.0%	0.0%
こまめに部屋の換気をする	50.1%	32.3%	14.5%	3.0%	0.0%	0.0%

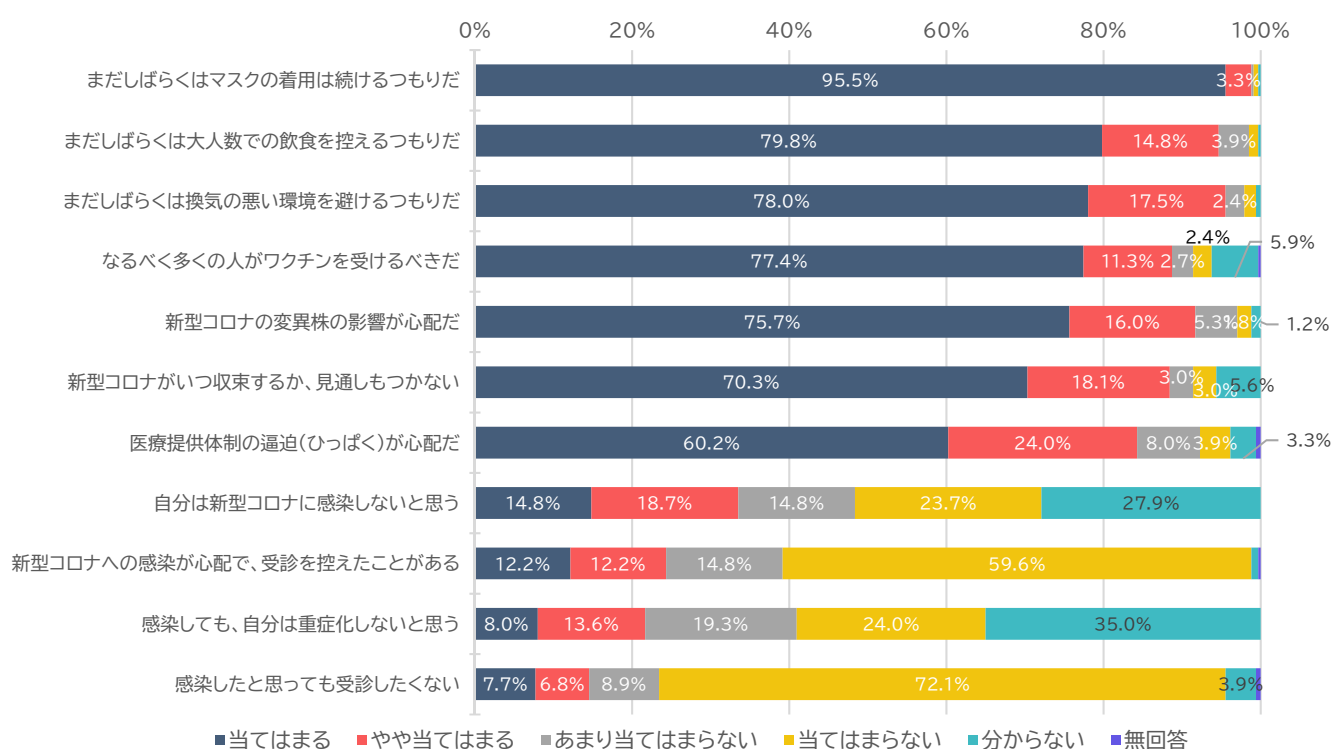
問6 新型コロナに関してあなたの気持ちや経験に当てはまるものを教えてください。

気持ちや経験に当てはまるものについては、「まだしばらくはマスクの着用は続けるつもりだ」(95.5%)が最も高く、次いで「まだしばらくは大人数での飲食を控えるつもりだ」(79.8%)、「まだしばらくは換気の悪い環境を避けるつもりだ」(78.0%)、「なるべく多くの人々がワクチンを受けるべきだ」(77.4%)が続いた。

一方、当てはまらないものについては、「感染したと思っても受診したくない」(72.1%)、「新型コロナへの感染が心配で、受診を控えたことがある」(59.6%)が高い割合を占めた。

新型コロナに関する気持ちや経験(SA)

n=337



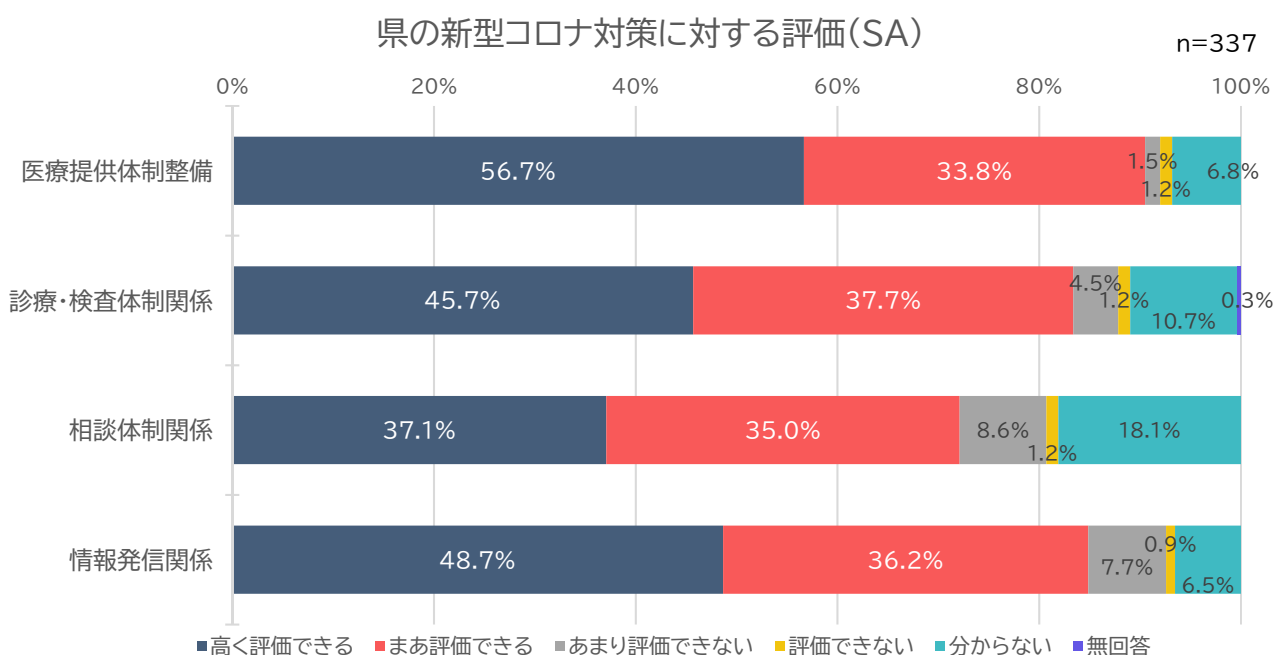
	当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまらない	当てはまらない	分からない	無回答
まだしばらくはマスクの着用は続けるつもりだ	95.5%	3.3%	0.3%	0.6%	0.3%	0.0%
まだしばらくは大人数での飲食を控えるつもりだ	79.8%	14.8%	3.9%	1.2%	0.3%	0.0%
まだしばらくは換気の悪い環境を避けるつもりだ	78.0%	17.5%	2.4%	1.5%	0.6%	0.0%
なるべく多くの人々がワクチンを受けるべきだ	77.4%	11.3%	2.7%	2.4%	5.9%	0.3%
新型コロナの変異株の影響が心配だ	75.7%	16.0%	5.3%	1.8%	1.2%	0.0%
新型コロナがいつ収束するか、見通しもつかない	70.3%	18.1%	3.0%	3.0%	5.6%	0.0%
医療提供体制の逼迫(ひっばく)が心配だ	60.2%	24.0%	8.0%	3.9%	3.3%	0.6%
自分は新型コロナに感染しないと思う	14.8%	18.7%	14.8%	23.7%	27.9%	0.0%
新型コロナへの感染が心配で、受診を控えたことがある	12.2%	12.2%	14.8%	59.6%	0.9%	0.3%
感染しても、自分は重症化しないと思う	8.0%	13.6%	19.3%	24.0%	35.0%	0.0%
感染したと思っても受診したくない	7.7%	6.8%	8.9%	72.1%	3.9%	0.6%

B 県の新型コロナ対策(医療提供体制等)について

問7 これまで県が行ってきた対策に関するあなたの評価を教えてください。

これまで県が行ってきた新型コロナ対策のうち、経済対策等を除く医療提供体制等に関するものについて尋ねたところ、医療提供体制整備が「高く評価できる」(56.7%)が最も多く、次いで情報発信関係の評価が高かった(48.7%)。

一方、「評価できない」はどの項目も1%前後であったが、「あまり評価できない」については、最も多かったのが相談体制関係(8.6%)であり、次いで情報発信関係(7.7%)であった。



	高く評価できる	まあ評価できる	あまり評価できない	評価できない	分からない	無回答
医療提供体制整備 (新型コロナ専用病床や宿泊療養施設の確保、感染状況に応じた病床数の調整)	56.7%	33.8%	1.5%	1.2%	6.8%	0.0%
診療・検査体制関係 (発熱等の症状がある場合の受診・検査を行う医療機関の確保)	45.7%	37.7%	4.5%	1.2%	10.7%	0.3%
相談体制関係 (体調が悪い場合や不安を感じる場合の相談体制の整備)	37.1%	35.0%	8.6%	1.2%	18.1%	0.0%
情報発信関係 (HPや広報誌,テレビ,SNS等を通じた感染状況に関する情報提供や注意喚起)	48.7%	36.2%	7.7%	0.9%	6.5%	0.0%

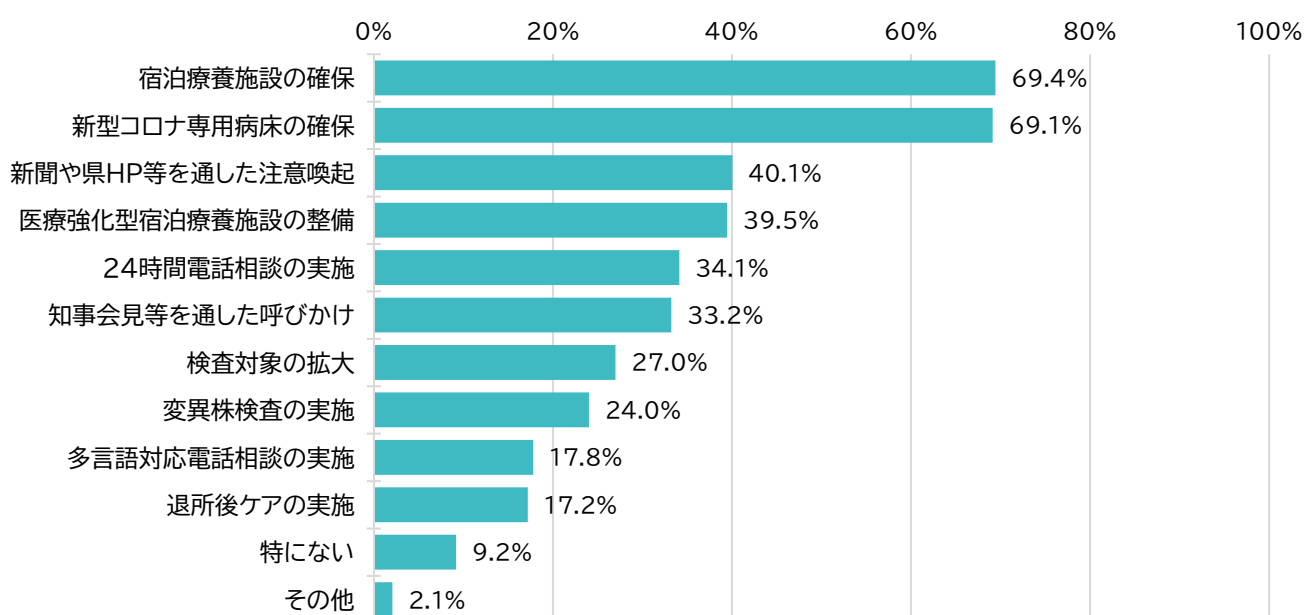
問8 これまでの県の新型コロナ対策（医療提供体制等）について、評価できると思うものを次の中からいくつか選んでください。

県の新型コロナ対策（医療提供体制等）について評価できると思うものについて尋ねたところ、「宿泊療養施設の確保」（69.4%）、「新型コロナ専用病床の確保」（69.1%）が他の選択肢を大きく引き離して評価が高かった。次いで、「新聞や県HP等を通した注意喚起」（40.1%）、「医療強化型宿泊療養施設の整備」（39.5%）が続いた。

一方、評価できるものが「特にない」は9.2%と1割弱であった。

県の新型コロナ対策について、評価できるもの(MA)

n=337



	%
宿泊療養施設の確保	69.4%
新型コロナ専用病床の確保	69.1%
新聞や県HP等を通した注意喚起	40.1%
医療強化型宿泊療養施設の整備	39.5%
24時間電話相談の実施	34.1%
知事会見等を通した呼びかけ	33.2%
検査対象の拡大	27.0%
変異株検査の実施	24.0%
多言語対応電話相談の実施	17.8%
退所後ケアの実施	17.2%
特にない	9.2%
その他 [※]	2.1%

※その他：「分からない」「どれも利用することがなかったので分からない」「感染しなかったから現状が分からない」「全部評価できます」「コロナワクチンの副反応が疑わしい場合の情報吸い上げが不十分」等

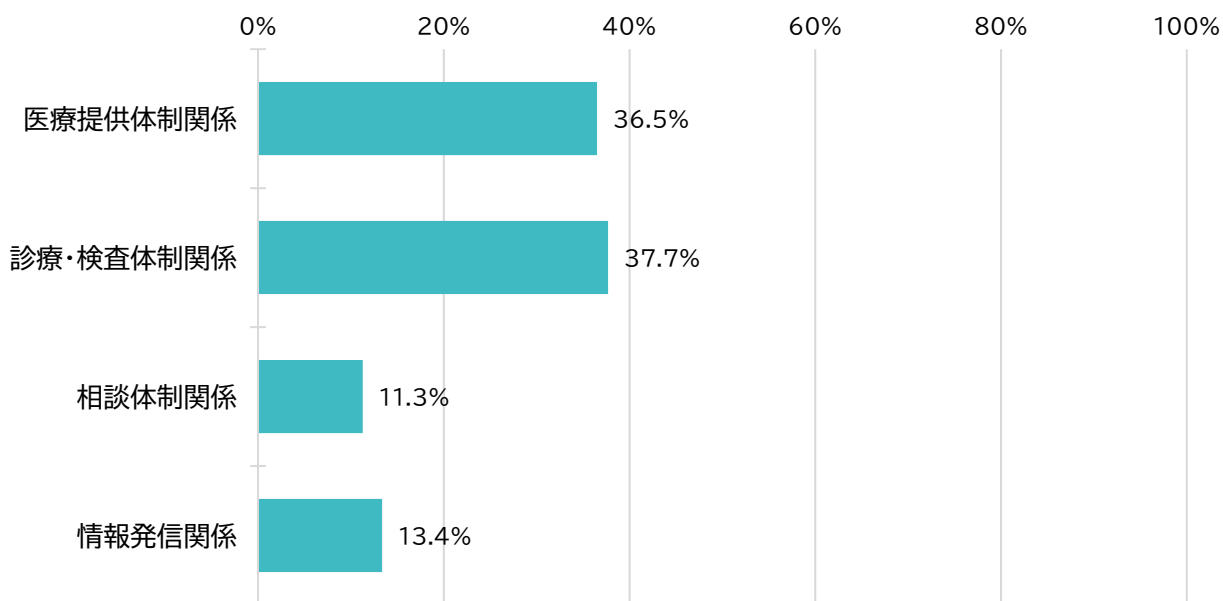
問9 県の新型コロナ対策に関し、特に取り組みを強化して欲しい分野を1つ選んでください。

県の新型コロナ対策に関し、特に取り組みを強化して欲しい分野を尋ねたところ、「診療・検査体制関係」(37.7%)、「医療提供体制関係」(36.5%)が多くを占めた。

医療提供体制については、問7のとおり、「高く評価できる」「まあ評価できる」という意見が多かった一方で、取り組みの強化についても要望が多かった。

県の新型コロナ対策で取り組みを強化して欲しい分野(SA)

n=337



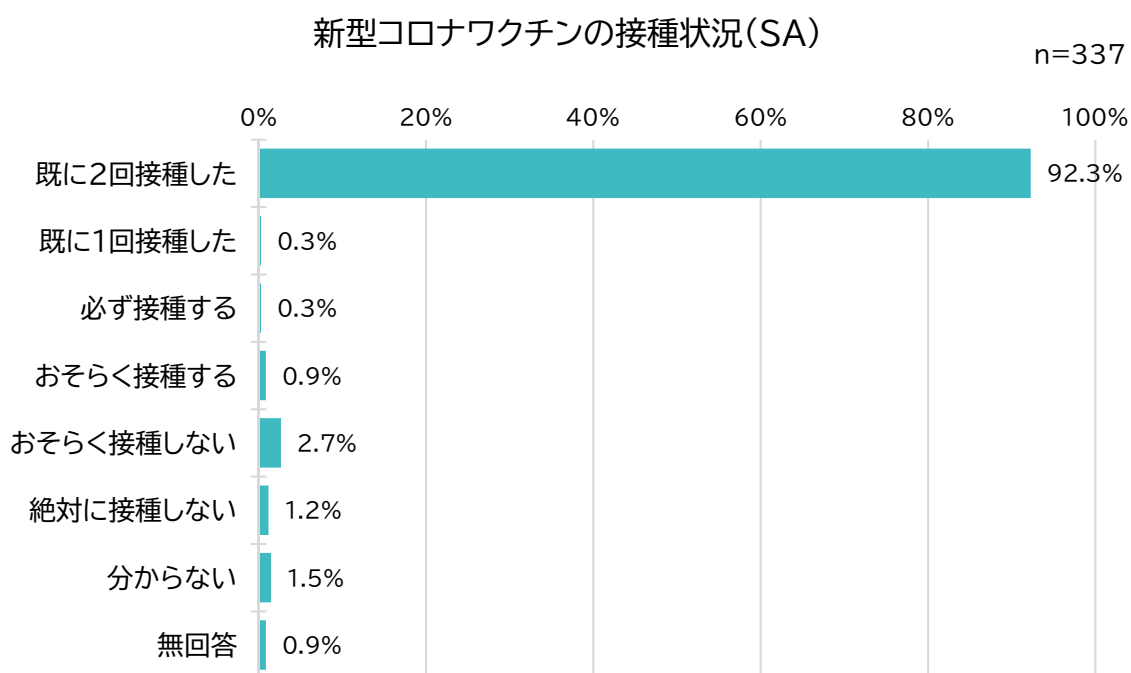
	%
医療提供体制関係	36.5%
診療・検査体制関係	37.7%
相談体制関係	11.3%
情報発信関係	13.4%
無回答	1.2%

C 新型コロナワクチンについて

問10 新型コロナワクチンについて、あなたに当てはまるものを教えてください。

新型コロナワクチンについては、「既に2回接種した」が92.3%であった（※調査実施時の令和3年12月時点）。

一方で、接種しない、という回答については、「おそらく接種しない」「絶対に接種しない」を合わせて3.9%であった。

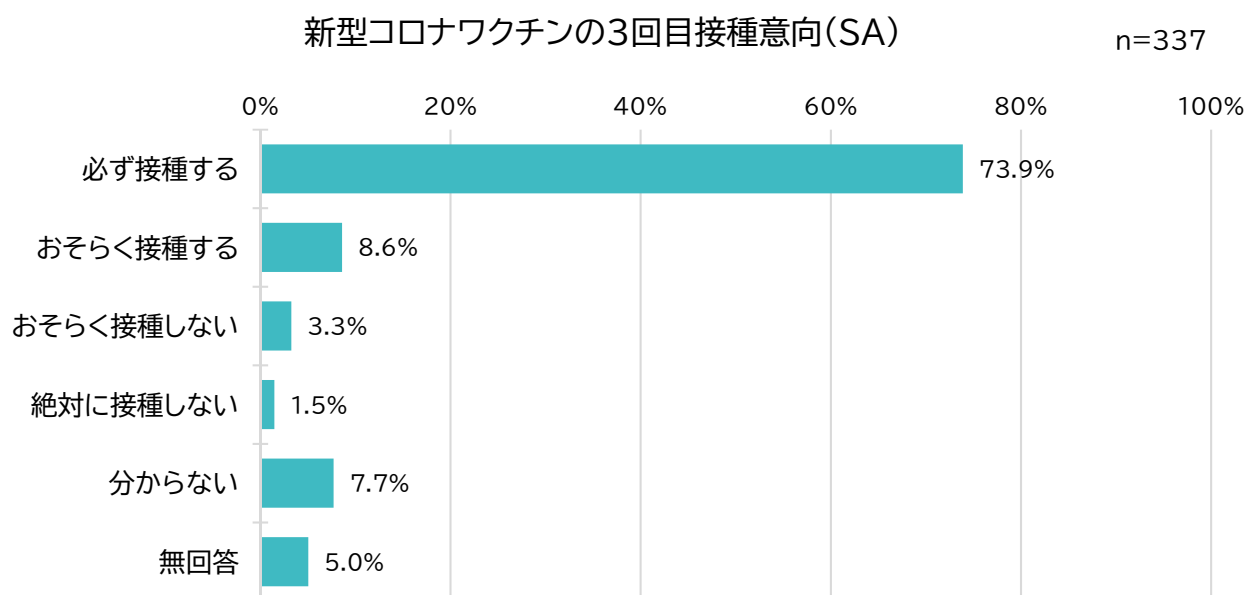


	%
既に2回接種した	92.3%
既に1回接種した	0.3%
必ず接種する	0.3%
おそらく接種する	0.9%
おそらく接種しない	2.7%
絶対に接種しない	1.2%
分からない	1.5%
無回答	0.9%

問11 3回目のワクチン接種について、あなたに当てはまるものを教えてください。

3回目のワクチン接種についての意向を尋ねたところ、「必ず接種する」(73.9%)が最も多く、「おそらく接種する」(8.6%)と合わせて82.5%であった。

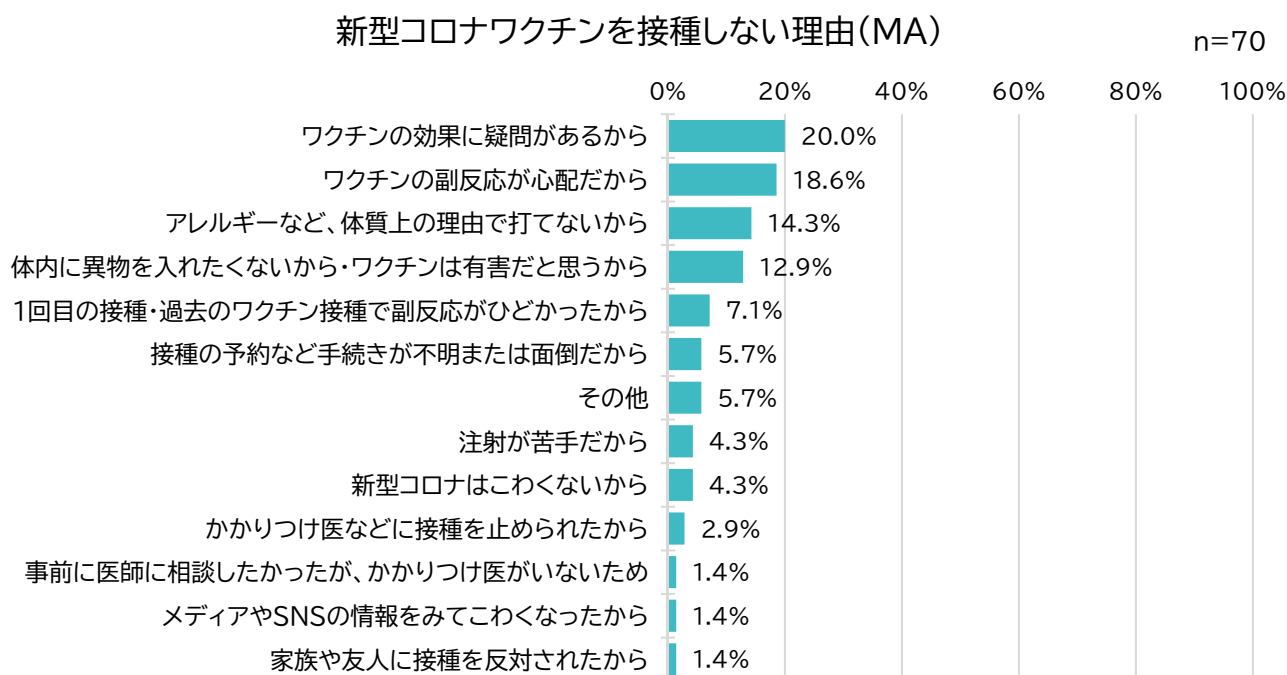
一方、「おそらく接種しない」(3.3%)、「絶対に接種しない」(1.5%)は合わせて4.8%であった。



	%
必ず接種する	73.9%
おそらく接種する	8.6%
おそらく接種しない	3.3%
絶対に接種しない	1.5%
分からない	7.7%
無回答	5.0%

問12 新型コロナワクチンを「接種しない」「分からない」理由について、あなたに当てはまるものをいくつでも選んでください。

新型コロナワクチンの接種意向がない者、分からないと回答した者に向け、接種しない理由等について尋ねたところ、「ワクチンの効果に疑問があるから」（20.0%）、「ワクチンの副反応が心配だから」（18.6%）、「アレルギーなど、体質上の理由で打てないから」（14.3%）が上位を占めた。



	%
ワクチンの効果に疑問があるから	20.0%
ワクチンの副反応が心配だから	18.6%
アレルギーなど、体質上の理由で打てないから	14.3%
体内に異物を入れたくないから・ワクチンは有害だと思うから	12.9%
1回目の接種・過去のワクチン接種で副反応がひどかったから	7.1%
接種の予約など手続きが不明または面倒だから	5.7%
その他※	5.7%
注射が苦手だから	4.3%
新型コロナはこわくないから	4.3%
かかりつけ医などに接種を止められたから	2.9%
事前に医師に相談したかったが、かかりつけ医がいないため	1.4%
メディアやSNSの情報をみてこわくなったから	1.4%
家族や友人に接種を反対されたから	1.4%

※その他：「有効性で判断」「1・2回はモデルナ、3回目はモデルナは接種したくない」「ワクチン接種はあくまで任意であるから」等

※「過去にコロナにかかったので免疫がついたと思うから」「自分は感染しない、重症化しないと思うから」「接種会場が遠い」「接種に行く時間がないから」「接種のために外出して感染する方が怖いから」は選択肢を設けたが、回答がなかった。

D 新型コロナ以外の感染症全般について

問13 新型コロナの世界的な流行を受け、感染症全般に関してあなたがどう感じているか、当てはまるものを教えてください。

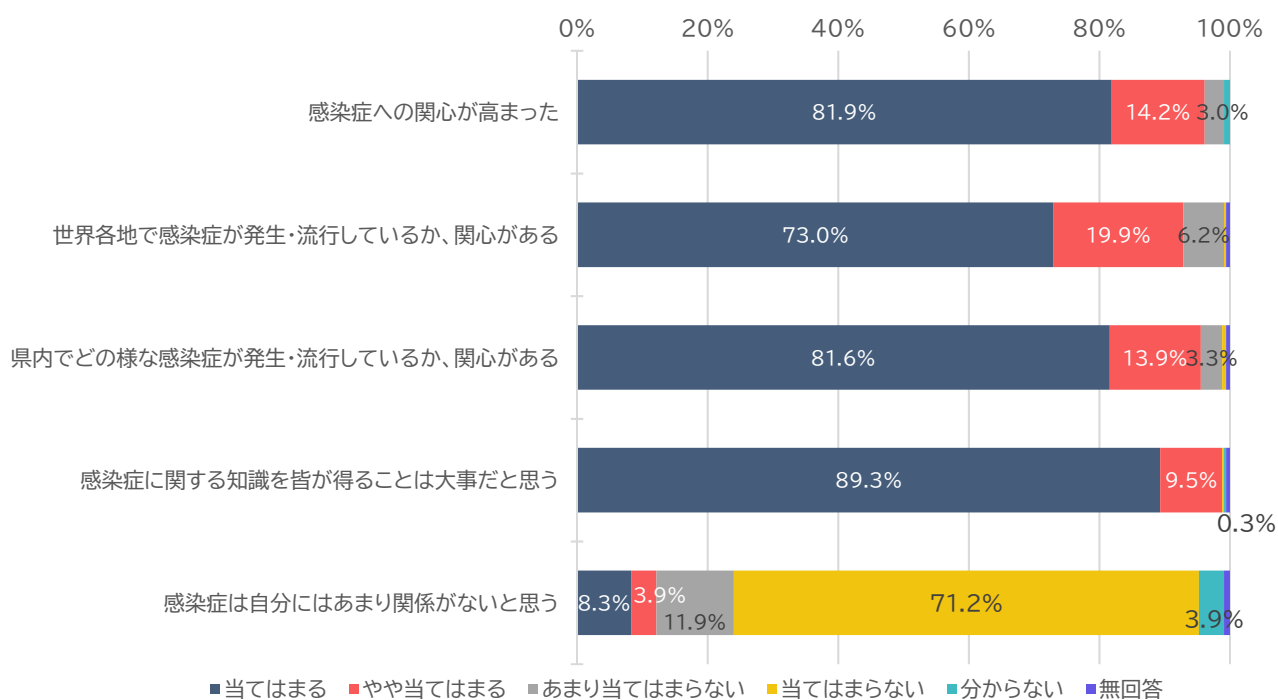
新型コロナにより感染症が社会に及ぼす影響の大きさが改めて示されている中、感染症全般に関し感じることを尋ねたところ、「当てはまる」が最も多かったのは「感染症への関心が高まった」(81.9%)、「感染症に関する知識を皆が得ることは大事だと思う」(89.3%)であった。

また、「県内でどのような感染症が発生・流行しているか、関心がある」(当てはまる：81.6%、やや当てはまる：13.9%)と、県内での感染症の発生動向に対する関心が高い層が9割以上を占めた。

一方、「感染症は自分にはあまり関係がないと思う」が当てはまる(8.3%)、やや当てはまる(3.9%)としたのが計12.2%で、逆に当てはまらない(71.2%)、あまり当てはまらない(11.9%)が計83.1%と、感染症を自らに深い関係のものとして捉えている人が多数を占めた。

感染症全般に関し感じること(SA)

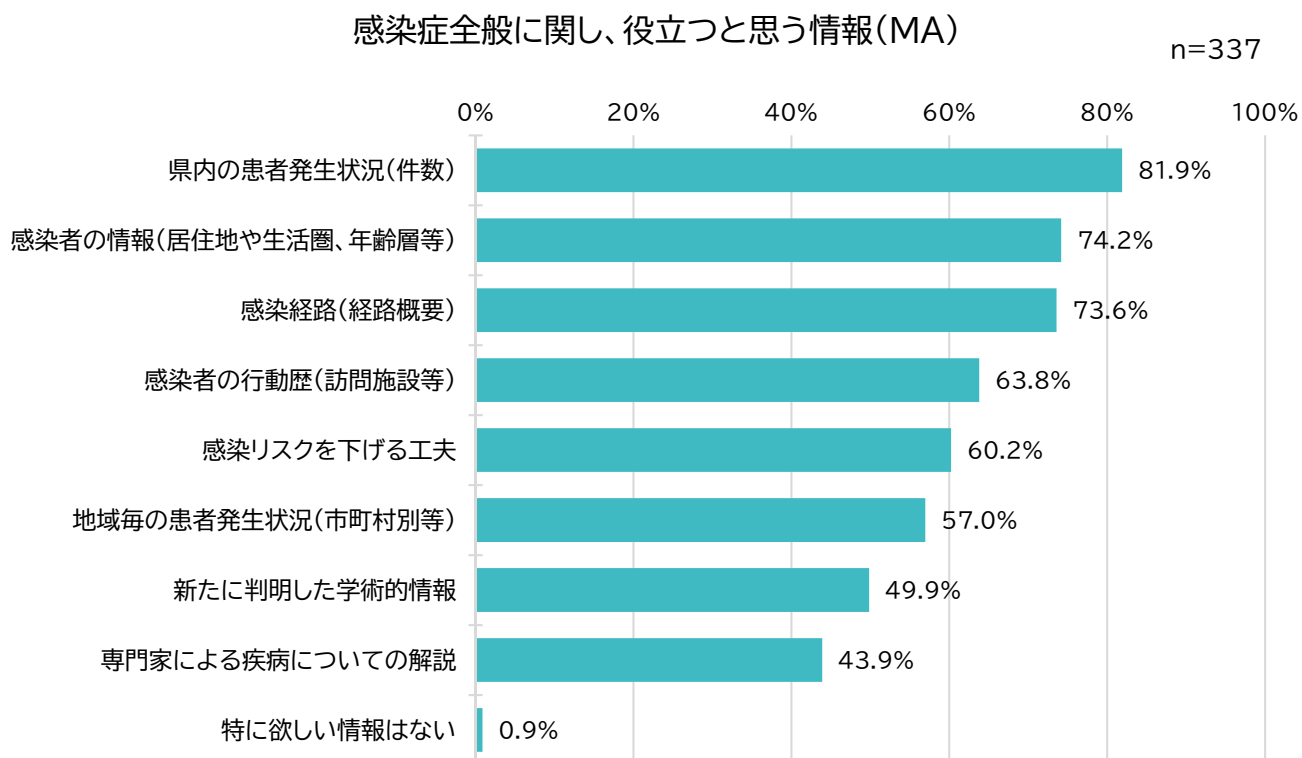
n=337



	当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまらない	当てはまらない	分からない	無回答
感染症への関心が高まった	81.9%	14.2%	3.0%	0.0%	0.9%	0.0%
世界各地で感染症が発生・流行しているか、関心がある	73.0%	19.9%	6.2%	0.3%	0.0%	0.6%
県内でどのような感染症が発生・流行しているか、関心がある	81.6%	13.9%	3.3%	0.6%	0.0%	0.6%
感染症に関する知識を皆が得ることは大事だと思う	89.3%	9.5%	0.0%	0.3%	0.3%	0.6%
感染症は自分にはあまり関係がないと思う	8.3%	3.9%	11.9%	71.2%	3.9%	0.9%

問14 感染症全般に関して、あなたが役立つと思う情報をいくつでも選んでください。

新型コロナ以外の感染症全般に関し、役立つと思う情報について尋ねたところ、「県内の患者発生常用（件数）」（81.9%）、「感染者の情報（居住地や生活圏、年齢層等）」（74.2%）、「感染経路（経路概要）」（73.6%）といった項目が上位を占めた。



	%
県内の患者発生状況(件数)	81.9%
感染者の情報(居住地や生活圏、年齢層等)	74.2%
感染経路(経路概要)	73.6%
感染者の行動歴(訪問施設等)	63.8%
感染リスクを下げる工夫	60.2%
地域毎の患者発生状況(市町村別等)	57.0%
新たに判明した学術的情報	49.9%
専門家による疾病についての解説	43.9%
特に欲しい情報はない	0.9%

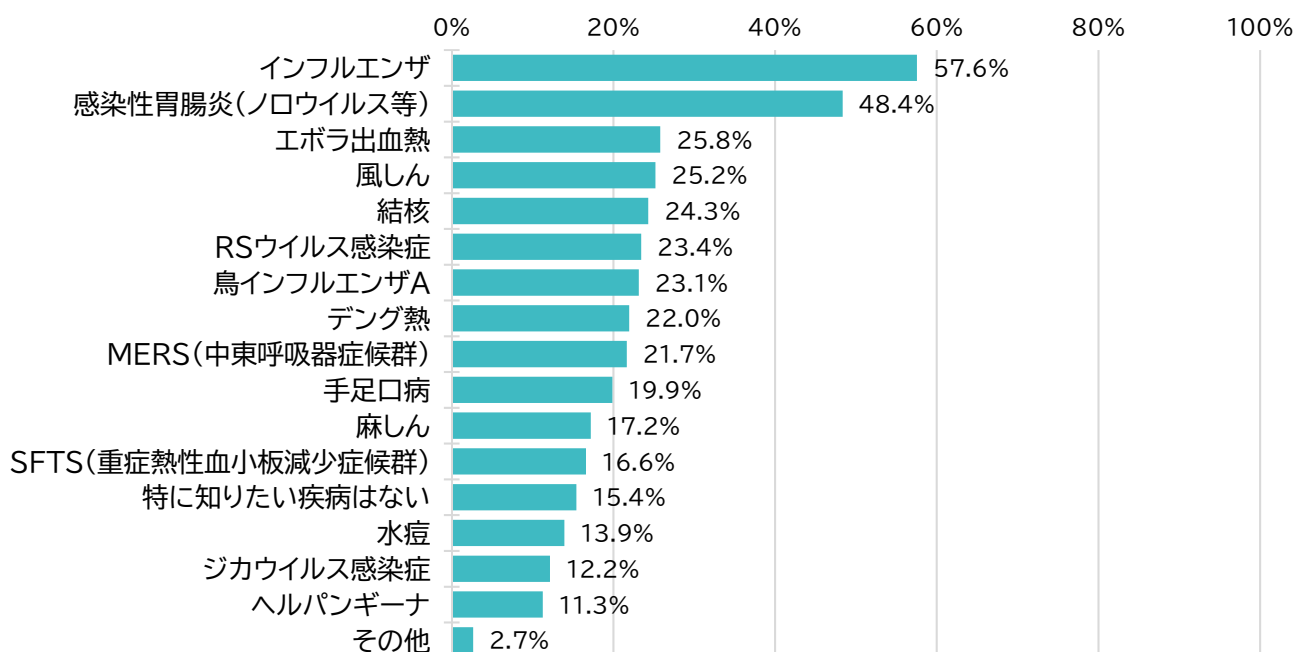
問15 次の感染症の中で、知りたい・関心があるものをいくつでも選んでください。

個別の感染症について、知りたい・関心があるものについて尋ねたところ、「インフルエンザ」(57.6%)、「感染性胃腸炎(ノロウイルス等)」(48.4%)が他の疾病を引き離して上位を占めた。

一方、「特に知りたい疾病はない」は15.4%であった。

知りたい・関心がある感染症(MA)

n=337



	%
インフルエンザ	57.6%
感染性胃腸炎(ノロウイルス等)	48.4%
エボラ出血熱	25.8%
風しん	25.2%
結核	24.3%
RSウイルス感染症	23.4%
鳥インフルエンザA	23.1%
デング熱	22.0%
MERS(中東呼吸器症候群)	21.7%
手足口病	19.9%
麻しん	17.2%
SFTS(重症熱性血小板減少症候群)	16.6%
特に知りたい疾病はない	15.4%
水痘	13.9%
ジカウイルス感染症	12.2%
ヘルパンギーナ	11.3%
その他*	2.7%

※その他：マラリア等

E その他

問16 新型コロナや感染症対策全般について、県への要望や困っていること等ご自由にご記入ください。

自由記述については、主に以下のような意見があった。

●感染防止対策関係

- ・ 感染するリスクは「密」だと思います。長時間同じ空間に大勢の人が集まるのは感染が広がる恐れがあります。イベント等で箱物の中で過ごすのは心配です。チェックを怠らないようイベント主催者等へ指導して欲しいと思います。(女性/70歳代)
- ・ 大胆なロックダウンをしてほしいです。全国はダメでも県内だけでも一週間か1ヶ月のロックダウンが必要だと思います。そうすれば、関心も高まり全国にもしめしが付くのでやってほしいです。(男性/20歳代)
- ・ 山梨県は感染が少ない為他県から移動してくるので心配です。そのあたりの対策をお願いしたいです。(女性/50歳代)
- ・ 商業施設など多くの人が集まっているように思う。利用者のうちマスクをしていない人はほとんど見つけないが、中には何日も使用しているマスクを付けている特に高齢者を多く見かける。又トイレなどには消毒液は置いてあるものの液がなくなっていることがあった。便器や洗面台は汚れていることが多くある。利用者のマナーが悪い結果だと思うが施設管理者や利用者にも情報提供し指導が打てないだろうか？(男性/60歳代)
- ・ トイレの便座に除菌用のアルコール液を設置して欲しい。県民ホールのトイレには設置してありませんでした。コロナ感染者の行動歴が分からないと接触者かどうか判断が付かないのでできる限りの情報公開を望みます。(女性/60歳代)
- ・ マスクが着用できない子どもが、風邪をひいて外出先で咳き込んだり、くしゃみをしたりしてしまった時の皆さんの視線が冷たい。マスクが着用したくてもできない人もいるということを知って欲しい。まだまだ障害者には冷たい世の中です。(女性/30歳代)
- ・ 感染症対策は、結局個人の良識に委ねる所しかないと思います。個々にルールを厳守し考察して行動することで良い方向に向かってもらいたいです。行政は、やはり、正確な情報の発信、医療機関とのさらに密なる関係の構築をお願いしたいです。今後、私の個人的な意見ですが、低年齢層の感染拡大が、懸念されると思います。学童対策は、行政の最も密接に関連している領域と認識しております。日本のそして山梨の未来を担う子供たちの為に、さらなる手腕と行動力をお願いしたいと思います。(男性/60歳代)
- ・ 現在のコロナ対応を総合的に見て、子供たちの成長について最も懸念がある。特にマスクにおいては科学的に明確な研究エビデンスはなく、酸素不足による集中力低下や学力・体力低下を一番に心配している。またコミュニケーションにおいても、相手の表情をしっかりと見るということは、幼少期が一番大事なはずで、現状新型コロナが流行しているとはいええない県内においてそれが蔑ろにされている現状をもっと考えるべきである。学校においてはマスク着用は「任意」を強く推奨すべきと考える。(女性/40歳代)
- ・ マスク着用をするかしないかで事件が起きていることが気になります。着用の義務化も必要かと思っています。(女性/50歳代)

●医療提供・受診・相談・検査関係

- ・ 知人が陽性で宿泊療養施設に入所したさい対応がとても良かったとの話を聞き、もし感染したとしても不安が取り除かれる。とは言っても感染予防対策はしっかりとして行きたい。(男性/70歳代)
- ・ 新型コロナに感染したら、どこへ受診したら良いのか分かりません。受診できる医療施設の情報をもう少し詳しく情報を開示してほしいです。(女性/20歳代)
- ・ 症状が出ないと病院へは行かないのだと感じた事がありました。心当たりのある人が気軽に足が向くような工夫はないのでしょうか。(女性/50歳代)
- ・ 受診前の相談を気軽に出来ると良いと思います。(女性/50歳代)
- ・ 無症状の患者に対して、濃厚接触でない限り検査を行って新型コロナに感染しているかわからない状況で、熱や咳がでない限り、検査をしてもらえないので自分が感染しているかわからない人がたくさんいると思う。そのまま無症状だからわからないまま過ごしてたくさんの人に感染して重症化してしまう人もたくさん出てくると思う。ワクチンを打ったから大丈夫、子供だからひどくはならないとかではなく、少しでも手軽に検査をしてくれる所や感染者が減ったから気が緩んだような対策になりつつある場所など今だからこそ強化した方が良いと思う。子供達の為にこれからの為に、山梨を住みやすい所にしてほしいです。(女性/30歳代)
- ・ 検査体制の充実に力を入れてほしい。医療関係に関わっている人達に厚い支援をお願いしたい(女性/70歳代)
- ・ コロナ感染が収束する見通しがつくまでPCR検査・抗原定量検査を年齢を問わず希望する人全員に無料で受けられるようにしてほしい。(女性/70歳代)

●情報発信関係

- ・ 正確な情報を知ることが感染を極力ふせぐことにつながると思うので、そのための取り組みに力を入れていただきたいと思います。(女性/40歳代)
- ・ 県内の患者発生数(件数)だけでなく、医療体制の状況や保健所からの情報など県からの情報をニュースに盛り込みながら県民に伝えて欲しい。(女性/60歳代)
- ・ 毎日のコロナに対する暮らし方に対して具体的に強い発信を週1回くらい、テレビ/新聞でしてほしい。(女性/70歳代)
- ・ 新型コロナ(オミクロン)などの感染者の行動など詳しく知りたい。(男性/70歳代)
- ・ 新型コロナウイルスの患者が県内でも見つかった時、発表地域が中北、峡東などといったとても広い範囲のもだった。個人が特定できるような細かい情報は必要ないと思うが、自分自身や、子供に注意を促す面において、せめて市町村名は発注時点で発表してほしいと思った。後日、今週は甲府市、何名でした・・・と発表しても、あまり意味のない様に思える。感染を防ぎたいのであれば、素早く出来るだけ多くの情報を伝えるべきなのでは。(女性/50歳代)
- ・ 毎日ラインで送られてくる県内の感染症患者発生数と医療機器メーターはとても重宝しています。今のところ落ち着いているようで、関係者の皆様のご努力のおかげと感謝しています。(女性/20歳代)
- ・ 感染者が出た場合もうちょっと状況が分かると良いと思います。感染経路と環境も詳しく知りたい。オミクロン株、高齢者なので感染がこわい。ワクチンの接種を早く受けたい。(女性/70歳代)
- ・ 市町村別の感染者数を詳しく知りたいです。(男性/30歳代)
- ・ 山梨県は、感染状況や県の取り組み等、わかりやすく、さらにアクセスしやすい環境になっているの

で、若年層へも情報が届きやすいと思います。対応されている方々は先行きが見えずとても大変だと思いますが、県民全員で乗り越えていく気持ちで、微力ながら協力していきたいと思っています。(女性/30歳代)

- ・ 日々の感染発生情報は、保健所単位ではなく、市町村単位で出してほしい。(未記入/70歳代)
- ・ 感染者が出た場合には、地域をぼかさないう報道してほしい。(男性/30歳代)
- ・ 感染地域の発表があっても、どこの地区かわからないので不安が大きい。個人情報の保護など理由があるとは思いますが、感染者が出た地区へはなるべく行きたくないのが本音なので、詳細が知りたい。(女性/30歳代)
- ・ ポータルサイトはもう少し詳細内容が欲しい。せめて市町村名、想定される感染経路など。感染者が特定される事を恐れ過ぎているように感じる。(女性/70歳代)

●ワクチン関係

- ・ ワクチン接種を年齢別に行なってきてくれましたが公平にしてほしかったです。集団接種は、密すぎてこわかったです。しかも対応が悪くできれば病院で安心して打ちたかったです。3回目の接種は、不安なく打てるようにしてほしいです。(女性/40歳代)
- ・ 新型コロナ感染症予防接種申し込み方法について市町村へ指導をお願いしたいと思います。65才以上の接種が開始されるにあたり、甲州市の場合、電話のみの方法でした。対象が8000人くらいで誰もが早く接種したいと2回線（後で増やしたようですが）では殺到することは事前に予想されたと思います。一日中電話をかけ続けた例は何人もいます。300回かけた人もいます。3回目接種の際は考慮して欲しいと思います(女性/70歳代)
- ・ ワクチンを2回打った後、今までなかった不整脈になりました。ワクチンとの因果関係は分かりませんが、3回目は打たないでいるつもりです。うわさで打った後亡くなった人のいるのを聞くと怖い気がします。ワクチンを打つも打たぬも命がけ(女性/60歳代)
- ・ 高齢者等が3回目のワクチン接種がスムーズに実施できるよう県から各市町村へ呼びかけて欲しい。(女性/40歳代)
- ・ ワクチン接種が進んでいますが、私自身も妊娠中でつわりがひどくまだ接種していない状況です。様々な理由で打てない方も沢山いると思うのでそういった人への差別や偏見などがなくなると良いと思います。県もそのような呼びかけをしてほしいです。また、感染してしまった人への差別もなくなるべきと強く思います。(女性/20歳代)
- ・ コロナワクチン副反応に関する情報を吸い上げる体制及びそれを公開する体制を具体的に設定してほしい。医者にはファイザーワクチン2回目接種後の副反応と思われる症状(一過性脳虚血症)があったので診断してもらったが原因不明とされた。(この要望は県というよりも国に対するものかも知れないが)(男性/70歳代)
- ・ コロナワクチンの副反応を怖がっている人たちもいる。ワクチン接種をしたくないという人や、実施した人たちを集めての座談会などを実施してみたらと思います。(男性/70歳代)
- ・ 体質上の理由で、ワクチン接種をしていない場合、飲食店等で接種済みの人と差別されないような配慮ある社会であってほしいと思います。ワクチン済みでも感染する人もいるのに、それだけで大丈夫というのもどうかと思います。(女性/70歳代)

●グリーン・ゾーン認証、経済対策関係

- ・ グリーン・ゾーン認証施設等についても施設により温度差が大きい。行政として、認証取得の推進と基準の厳格化、取得後の指導、チェックが必要。(男性/60歳代)
- ・ 飲食店で実施しているグリーン・ゾーン認証は、認定店でも店によって対応に大差がありあてにならない。グリーン・ゾーン認証店で私が知っている店は、換気もされておらずCO2センサー値が1,000を超えておりアルコール消毒設置もずさんな店があります。また、感染拡大中にもかかわらず、都内を含む県外の観光客を歓迎される知事の方針はいかがなものかと思います。山梨県で感染者が少ないのは、県民一人一人の努力のたまものであり、グリーン認定による抑制ではないと思います。感染拡大中は県外から観光客を受け入れる前に、地域のイベントを通常どおり実施した経済活動をするのが良いと思います。(女性/40歳代)
- ・ 感染症は流行っている時は流行るので、ある程度落ち着くまでは、県もいくらグリーン認証されたお店でも無尽でお助けキャンペーンとかはしないほうが良いのではないかと思います。(男性/50歳代)
- ・ 山梨グリーン・ゾーン認定を取り上げても、おそらく認定施設とそうでない場所の違いはないのではと個人的には考える。(実際過去に認定施設で3例ほどクラスターが発生していた)。そういった検証を一旦きっちりすべきだし、またその情報も公開すべき。一律対策をすればOKという表面上の対応だけで済まさないでほしい。特に飲食店のアクリル板については、早急に撤去の指示をしていただきたい。どこの飲食店に行っても対策をしているという体裁だけで、その実は逆効果ではと思われるくらいどこもかしこも不衛生な現状を見直すべき。(女性/40歳代)
- ・ 給付金が問題視されているが、税金の有効活用になっているのか、ただばらまくのではなく必要な所へ行くこと。経済面での効果等考える必要と次回へ活かせるよう検証、対策を行っておくべき。(男性/60歳代)
- ・ 宿泊業、観光業への支援を強力にお願いしたい。山梨県の活性化の起爆剤は観光だと思っている。(女性/70歳代)
- ・ 経済対策、子供達への手厚い対策を実施して頂きたい。(女性/40歳代)

●新型コロナ以外の感染症関係

- ・ 新型コロナの情報は当たり前のように毎日耳に入ってくるが、インフルエンザの情報が少ない。インフルエンザの予防接種も病院で聞くと受付できませんと断られます。運が良ければ打てますとの答えで、インフルエンザの注射は今年はしなくても大丈夫なのか知りたいです。去年はインフルエンザで学級閉鎖というのでも聞かなかったのですが、今年は不明です。コロナもちろん心配ですが、老人が身近に居るのでとても心配です。(女性/50歳代)
- ・ 県の新型コロナに関する情報に助かっています。ありがとうございます。これからも新しい病気と我々はぶつかって、乗り越えていくと思います。感染率、死亡率、重症化等をふまえて、その病気の危険度をA、B、C、Dのようなランクを付けていただくとありがたいと私は思います。難しい判断になるとは思いますが・・・(コロナやエボラはAクラスにあたると思いますが) (男性/60歳代)
- ・ 今回の新型コロナだけでなく将来起こりうる感染症流行に対する全般的に備える活動を継続的に行う体制を整えてほしい。国家レベルの対応が必要なものは国にも働きかけて進めて行ってほしい。今回のパンデミックが収束に向かった時に、もう大丈夫として忘れ去るのではなく教訓を生かしていくようにお願いします。21世紀に入ってから、SARS/MERSや鳥インフルエンザ/豚インフルエンザで日本じ

や大きな被害がなかったとはいえ、十分にヒヤリハット事象があったにもかかわらず備えができていなかったことに、専門家も県民(国民)も反省すべきかと思います。あつという間にワクチン開発した海外のチームも、10年以上かけて基礎研究と開発していたからこそその成果です。必要な投資はしっかり続けていってほしいです。(男性/60歳代)

●その他

- ・ いまだに新型コロナ=恐ろしいという前提で、県全体が特定の感染症に重点的に取り組んでいるのがナンセンスだと思う。既にこの二年間の厚生労働省データを客観的に見れば、新型コロナだけが恐ろしい病ではないと気付くはずだが、全国的に一向にそうなる様子がないのは不可思議。県内の患者数だけでなく、日本国内全体において患者数が減っていて落ち着いている現時点で、改めてここまでの新型コロナ対応が適切だったのか、一度振り返って検証すべきであると思う。(女性/40歳代)
- ・ ずっと自粛しているのでストレスがすごい。(女性/20歳代)
- ・ 周囲にいないので、恐怖はあってもどこか他人事のように思ってしまった自分もいます。年末年始にかけ、また夏のように人の動きが多くなってくると思うので爆発的な感染につながらないか不安ではあります。もし、自分や家族が濃厚接触や感染が疑われる症状が出たときにまずどうすれば良いのか、すぐに検査が出来るのか、どこに電話するのか、とりあえず自宅待機なのか、そんな不安な状態から少しでも早く解放されるような措置をとって頂きたいと思います。そして私自身も事前にきちんと確認しておきたいと思いました。(女性/30歳代)
- ・ 仕事が都内なので、毎日が不安です。働かなければ生きていけないし、でも家族にコロナを持ち帰ってうつしたらとか、不安です。本当に。(男性/20歳代)
- ・ いずれにしても、長期化している中で今後どう対応していくのか「ウィズコロナ」の問題が重要。(男性/60歳代)
- ・ コロナ禍になって今までのように飲食・飲み会・旅行等「出かける」事を極力しないような生活になりました。ワクチン摂取率も上がって年が明けるとまたGOTOキャンペーンが始まりますが、個人的にはこのキャンペーンは反対です。むやみに安く得だからと飲食・旅行に行かなければ「なんだか損した気」にさせるようなあおり方をしているので、違和感しなくてまたその後の感染拡大になるに決まってるじゃんとか思えないのです。今まで感染防止対策として我慢していたのですから仲間で食事したいパーッと飲みに行きたい、旅行したいと思えば安くあおられなくても正当な金額をお支払いしてでも皆さん気持ちよく出かけると思うのです。そんな「使わなきゃ損した気」になるようなキャンペーンに使うお金は別なことに運用してもらいたいと前回の時から思っているのです。(女性/50歳代)
- ・ 色々つぶれていく行事、子供がかわいそう。(女性/20歳代)
- ・ 新しい変異株が広がらないようにする為に想像力をたくましく、あらゆる対策をお願いします。これまでのご努力に感謝をしております。一日も早くこの感染症が収束します用にと願い、一般市民としてのできる限りの事はしたいと思っております。(男性/70歳代)